

平成30年度 第3回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 平成31年3月29日(金) 午前10時00分～午前11時30分
2. 場 所 四日市市立図書館 3階 会議室
3. 出席者 松井真理子会長、福永智子副会長、岡田博子委員、
加藤誠治委員、嶋津美和委員、竹下すま子委員、中村孝幸委員
渡部通廣委員
(会長、副会長ののち、五十音順)
図書館：大森陽司館長、田中嘉隆副館長、村林知可子管理係長、
水谷園子奉仕係長、
4. 欠席者 藤田一樹委員
5. 傍聴者 2人
6. 議事録概要
 1. はじめに
 2. 議題
 - (1) 平成30年度下半期における図書館事業の報告について
 - (2) 平成31年度図書館事業方針(案)について
 - (3) 平成31年度図書館実施予定事業について
 - (4) 「子ども読書の日」に関する取組予定について
 - (5) 平成31年度の休館日について
 - (6) 学習室の延長について
 - (7) 平成30年度教育民政常任委員会等における質疑について
 - (8) その他
 3. おわりに

1. はじめに

【館長挨拶】

2. 議題

図書館協議会条例第5条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】定数9名、出席8名。

【傍聴者確認】2名。

【非公開範囲の決定】適宜、諮るものとされた。

2. 議題

- (1) 平成30年度図書館事業報告等(平成31年1月以降)について
(事務局資料1説明)

委員：説明のあったR本は、誰でも見ることが出来るのか。

図書館：現在、2階展示コーナーに展示しており見ていただける。

委員：R本とはどのような意味か。

委員：レファレンスの「R」の頭文字をとって。高等学校の学校司書有志のレファレンス研究会メンバーが、生徒にテーマ別に本を紹介するために作成した冊子である。

学校司書が情報交換をして作成したもので、参考になる内容になっている。まず、県立図書館で展示を行い賛同していただいた市町の公共図書館を巡回している。

委員：R本の冊子は販売しているのか。

委員：冊子は完売している。

委員：利用は学生だけでなく一般の人でも利用出来るのか。

図書館：図書館の展示コーナーに展示している図書は、一般の方だれでも借りることが出来る。

委員：展示は誰の目にも留まるような場所が好ましいので、新しい図書館ができたならば是非1階の出入り口付近にしてはどうか。

図書館：スペースがあれば、1階での展示が好ましいとは思っている。

（２）平成31年度図書館事業方針（案）について

（事務局資料2説明）

委員：図書館として、現状よくやってもらってはいるが、来年度の運営方針の中に新図書館の記載がない。政策担当課の主導で進めているので、難しいと思うが、いつ稼働してもすぐ進めることが出来るように準備をしていることが分かるように運営方針にあげたほうがよいのではないか。

図書館：どのように記載できるか考えさせていただきたいので少し時間をいただきたい。

委員：来年度、全国図書館大会が三重県で行われる。学校司書の方が選書したR本の公立図書館での展示は、学校と公立図書館の連携がとれていることであり大変良いことなので、発表して欲しいし、発表の機会があると思う。全国大会は、図書館活動があまり盛んでないところを中心に地方巡業をすることになっている。三重県の次の開催地は和歌山である。図書館活動が盛んでないと思われぬように、司書の方々が発表してアピールしてほしい。

図書館：大会に向けて予算を計上しており、積極的に参加していきたい。

委員：開催場所はだれがどんな基準で選定を行なっているのか。

委員：はっきりとはわからないが、貸出冊数などを基準としていると思われる。積極的に手をあげたところで開催されていたが、今回消極的な未開催地という事で候補にあがったのではないかとと思われる。

図書館：三重県は比較的県の予算も少ないと聞いたことがある。

委員：図書館は博物館などと連携しながら様々な活動を行っているので、全国

大会でアピールしてほしい。

図書館：昨日の子ども読書ネットワーク協議会においても、委員から、せっかく様々な活動を行っているのに伝え方が弱いのではないかという指摘があった。図書館として広報など周知できることを検討していきたい。

委員：活動について、しっかりやっているということを発信していけば、予算もつきやすいのではないか。

委員：活動を実施するだけでなく、手間はかかるが活動をまとめてもっと報告したほうが良いのではないか。

(3) 平成 31 年度図書館実施予定事業について

(事務局資料 3 説明)

委員：プレストトークは、貸出用に使われるのか。

図書館：図書館の中での利用を考えている。今後の利用状況等をみて、台数の増加を検討していきたい。

委員：今回の機器はパソコンに接続できることが新しい点なのか。

図書館：新たな機能として USB 接続、パソコン接続が可能になる。

委員：市の広報よっかいちに録音図書について掲載してほしい。点字・録音図書は今まで対象が視覚障害者のみであったが活字の利用が困難な方と数年前に変更になった。病院等で寝たきりで本を読めない方に録音図書を貸出してもらおうと楽しみが増えるのではないか。作業している私達としては少しでも多くの人に利用してもらいたい。

図書館：広報よっかいちで掲載できるよう検討したい。

委員：オーニングテントの設置場所は、児童室の横か。南向きか。

図書館：夏場は太陽の位置の関係でよく日があたる入口の前、児童室の横である。

委員：雨除け用もしくは日除け用か。

図書館：日除けとして考えているが、常設のため柔軟に考えていきたい。

委員：これは伸びるのか？

図書館：電動式でリモコンで前に伸びるようになっている。

委員：台風などで強風の際は壊れないよう気をつけてほしい。

委員：朝、開館前に並ぶ来館者用の庇であるなら、開館するとしまうということか。

図書館：開館後にしまうつもりである。

(4) 「子ども読書の日」に関する取組予定について

(事務局資料 4 説明)

委員：子ども読書の日はこの 4 月 23 日か。

図書館：4 月 23 日である。前後 2 週間ぐらいの行事を対象に国から取組につい

ての照会があった。

委員：市内の様々な施設で行われているが、市を挙げてやっていこうということか。

図書館：各々の施設で行っていたがあまり情報共有されていなかったということもあり、昨日開催した子ども読書ネットワーク協議会を情報共有する場として昨年協議会を立ち上げた。しかし、活動として情報共有するだけでなく市民の方にもっと周知すべきとの意見をいただいている。今後、もう少し統一感のある形でやっていけたらと思っている。

委員：来年度以降、4月にこのようなイベントをするのであればマップやホームページで掲載してイベントとして位置付ければ、もう少し盛り上がるのではないかと。例えば長野県の小布施町ではお祭りの際、小さな本棚が備え付けである場所が判るように町のキャラクターの旗を掲げて、好きに読んでもいいようなイベントを行っている。

委員：社会教育課が行っている「四日市まちじゅうこども図書館」について、子どもは待ち時間の間に見ているようなので、表示のフレームをもう少し大きくして、わかりやすくした方がいいと思う。また、学校ボランティアの方は子どもが卒業してしまうとやめてしまう。どうすれば、ボランティアの方が増えるのか地域の課題としてほしい。

図書館：昨日の子ども読書ネットワーク協議会の中でも、中学校の学校図書ボランティアが少ないため、小学校の図書ボランティアの方をお願いをしたいとの意見も出た。いただいたご意見をネットワーク協議会で参考にしていきたい。

委員：三重県の子ども読書推進会議に出ているが、県でも子ども読書の日は扱いにくい。子ども読書推進法にも4月23日と定めているが、組織として年度初めでやりにくいため、当初、機能していないところが多かった。

個人的な感覚で、四日市市はよくされていると驚いた。これは、すごく価値のあることに思える。4月から実施されているのは、今までの蓄積があって、それが普通になっていることと思われる。イベントとして名前をつけて、マップなどを作ってみてはどうか。

委員：例えば、名前をつけてスタンプラリーにしてみるのもいいのではないかと。

委員：なぜ4月23日か。

委員：男性が女性に本を贈るサンジョルディの日やシェイクスピアなどの多くの文筆家たちの誕生日や命日が重なった特別な日であることにちなんで、子ども読書活動について関心と理解を深めるために記念日として制定された。

(5) 平成31年度の休館日について

(事務局資料5 説明)

特に質問なし

(6) 学習室の延長について

(事務局資料6説明)

委員：30年度は23回延長されている。年間の半分ほど延長しているのであれば、すべて延長してはどうか。長期休み以外の土曜日全て延長した方が認識されるのではないか。高校生の試験勉強のためだけに学習室を延長しているのは他の利用者にとってはどうかとは思いますが、彼らが次世代に図書館を利用するということにつながるとも思う。いろいろな本の紹介や休憩室におすすめの本のコーナーがあってもいいのではないか。勉強するだけでなく、気分転換に本を読むようにセッティングすれば取組が上手くいくのではないだろうか。高校生は3階までどうやって上がっていくのか。展示室は通らないのか。

図書館：正面の玄関に入って階段でそのまま3階に行くことになる。

委員：スナックコーナーも3階にあるのなら、書棚に本を置いてみてはどうか。図書館には学校図書館にない多くの本があるので、本に接する機会になるのではないか。

利用率としては、4人掛けには2人での利用が多いと思うのでよく利用されていると思う。図書館は勉強するところではないという意見もあるが、次の世代として図書館利用者を育てるために彼らに本と接する機会を作っておけば学習室の延長もいいのではないか。

委員：スナックコーナーには棚はあるが、リサイクル本の提供の場所になっている。本を手にとってみてもらえるようにすれば利用するのではないか。

図書館：3階は貸出の経路には入っていない。本を置くのは課題もあり難しい。例えば、本を置くのではなく、違った形で展示や本を紹介するように出来ないかとは考えている。

委員：せっかく高校生が図書館に来ているのであれば、本を借りることが出来るような工夫をしたほうが良いのではないか。中高生に出来る限り来ていただき、本に接触してもらうのは重要なことなので、案内をしたりしてはどうか。雑誌の処分するものを置いて、新刊はこちらと誘導したりとか、とにかく勉強だけして帰られるのはもったいない。

委員：昔、POPを展示してあったと思うが。

図書館：今年度もPOPは展示させてもらっている。四日市大学の学生や北勢地区の高校生のPOP作品を紹介している。

委員：図書館息抜きコーナーはこちらみたいな、館内散歩のコースを作ってその途中の箇所に雑誌をおいてみたりしてはどうか。

委員：雑誌コーナーを設置してみたりしてはどうか。

(7) 平成30年度教育民政常任委員会等における質疑について

(事務局資料7説明)

委員：図書館保管場所の湿度は何か問題はあるのか。

図書館：極端に湿気が多いということでもないが、本の保管について湿度は低いほうが良いが、閉架書庫では湿度が60%と高くなる場合もあり、そのような場所での保管は大丈夫なのかといった趣旨の質問である。

委員：書庫の向きとか場所で湿度は変わってくるので、湿度計は使われたほうが良いのではないか。

図書館：湿度計を購入してあり夏場には設置予定である。

委員：日々のモニタリングをしてはどうか。

委員：質問されている議員は何名か。

図書館：今年の教育民生常任委員の3名の議員である。

委員：図書館に対して好意的な内容の質問ですね。

(8) その他

議長：他になれば議題を終了としたい。